

クロダイ稚魚を放流

川崎市・田島
ライオンズクラブ 小学生と父兄

田島ライオンズクラブ（田島勇人会長）は10月8日、同市東扇島の海浜公園で、地元小学生と父兄ら40人が参加する200尾のクロダイ稚魚の放流会を行った。子供たちは「大きくなつて戻つてきて」とクロダイ稚魚を放流

会おう」と声を掛けながら、次々と放流した。田島会長が「大きくなつて帰つて来るのを楽しみながら放流して」とあいさつ。川崎市の水谷誠漁業協会の今井利為専務が、「このクロダイ稚魚は協会の施設で育て、体長は約20センチに育つ。刺網などで漁獲され、また、釣人が好んでターゲットにするクロダイ稚魚が大きくなり7センチになつた。東京湾など内湾に生息する魚で



「大きくなつて戻つてきて」と説明。

このあと、子供たちと父兄は同協会の職員に小さなバケツに稚魚を入れてもらうと、稚魚を見つめたら放流した。クロダイは放流後1年経つと体長が約15センチ、2年目には約20センチに育つ。刺網などでは漁獲され、また、釣人が好んでターゲットにするクロダイ稚魚が大きくなり7センチになつた。東京湾など内湾に生息する魚です。